

# 物流事業者と一体で乗り越える！ 物流2024問題をチャンスに変える アクションプランの立案

## 物流2024問題対策 コンサルティング

荷主向け

詳しいご内容・お打ち合わせをご希望の場合は、  
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://dlabo.jmac.co.jp/inquiry>  
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307



お問い合わせフォーム

JMACサイトで物流2024年問題への対策コンサルティングを見る  
[https://www.jmac.co.jp/consulting/category/logistics/logistics\\_2024.html](https://www.jmac.co.jp/consulting/category/logistics/logistics_2024.html)

2024年4月1日以降、働き方改革関連法に基づき「自動車運転業務」の従事者（トラックドライバーなど）に対して年間の時間外労働時間の上限が960時間に制限されます。  
「物流2024年問題」とは、この法改正によって物流関連領域で発生する様々な問題の総称です。

この「物流2024年問題」は産業界に以下のような影響を及ぼすと言われています。

- トラックドライバーの収入減少により人材が居なくなる
- 輸配送リソースの確保が難しくなる
- これまでのサービスレベルを維持することができなくなる
- 最悪の場合は、モノを運ぶことができなくなる

## RISK

- 急な輸送依頼をしても、運送会社に対応できない
- 時間の制約により長距離輸送をお願いできなくなる
- 現行の集荷時間では運送会社側に対応できない
- 無理な輸送依頼による法令違反のリスクがある
- 小ロットでの輸送依頼ができない
- 運送会社側の時間制限により運送費が高くなる

2024年問題に対応が遅れると、物流コスト増やサービスレベル低下（納期長期化、時間指定緩和など）を招き、ビジネスに大きな悪影響を及ぼす可能性があります。

本コンサルティングサービスは上記の問題・リスクを回避するために以下のような課題認識を持つ企業向けのプログラムです。

- 複雑なネットワーク構造を見直すことでサービスレベル低下を抑制したい
- 直前手配を是正し、事前情報を基にして限られた輸配送リソースを最大限活用したい
- 走行時間以外に発生する付帯作業や待機時間を極小化したい
- 多頻度小口輸送を是正し物量集約を行って輸配送効率を向上させたい

### KEYWORD

#2024年問題 #働き方改革 #輸配送効率向上 #物流ネットワーク見直し  
#ドライバー拘束時間削減 #待機時間削減

2024年問題に向けた物流改革における最大の障壁は、物流という領域自体がブラックボックス化しており実態が分からないという点にあります。関わるプレイヤーが荷主と単一物流事業者というだけでなく、複数の物流事業者が絡んでくるため物流コストや作業・業務の実態などを把握することが難しいことが一因です。そのため、実態に則した施策が立案されずになかなか成果を出すことができないのが実情です。

このような状況を打破するためには以下のようなアプローチが必要になります。

1. 荷主と物流事業者を巻き込んだ検討活動の推進
2. 正しく定量化されたデータに基づく実態把握とこれに基づいた改革課題の設定
3. 会社の体制・レベルなどの特性に合わせた現実的なアクションプラン策定

JMACは荷主企業、物流事業者と双方の立場から物流改革プロジェクトを推進してきたノウハウを有しています。また総合コンサルティング会社として幅広い業種・業態で豊富な物流改革の経験があり、各会社の事業特性に併せたプロジェクト推進が可能です。

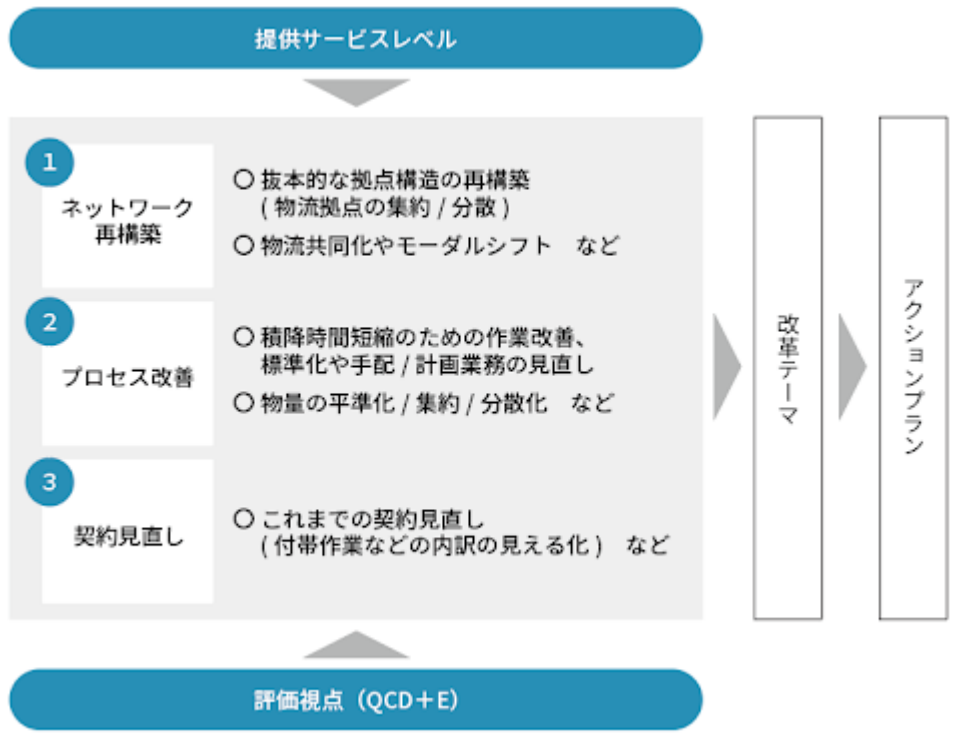
これまでの知見を活用しつつ上記3つのポイントをおさえて、現状実態の可視化、課題の設定、物流改革計画の立案と実行まで一貫して支援することができます。

# コンサルティングの進め方

1. 基本情報把握及び現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 荷主・運送会社関連部門インタビュー</li> <li>● コスト分析</li> <li>● 物量分析</li> <li>● 作業・業務・運送効率分析</li> </ul>
2. 課題抽出及び、改革テーマ策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題構造・課題整理</li> <li>● 物流改革テーマ立案</li> </ul>
3. アクションプラン策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目標値・KPI設計</li> <li>● 物流改革テーマ実行計画立案</li> <li>● 実行計画に基づき改革実行</li> </ul>

JMACは、右記に示す3つのアプローチを基本としてどのような施策が有効なのかを現状分析から明らかにします。

改革テーマやアクションプランを立案する際には、お客様に提供するサービスレベルやQCD+E(環境)の視点から評価を実施し、実現可能かつ最も有効な改革構想の立案を目指します。



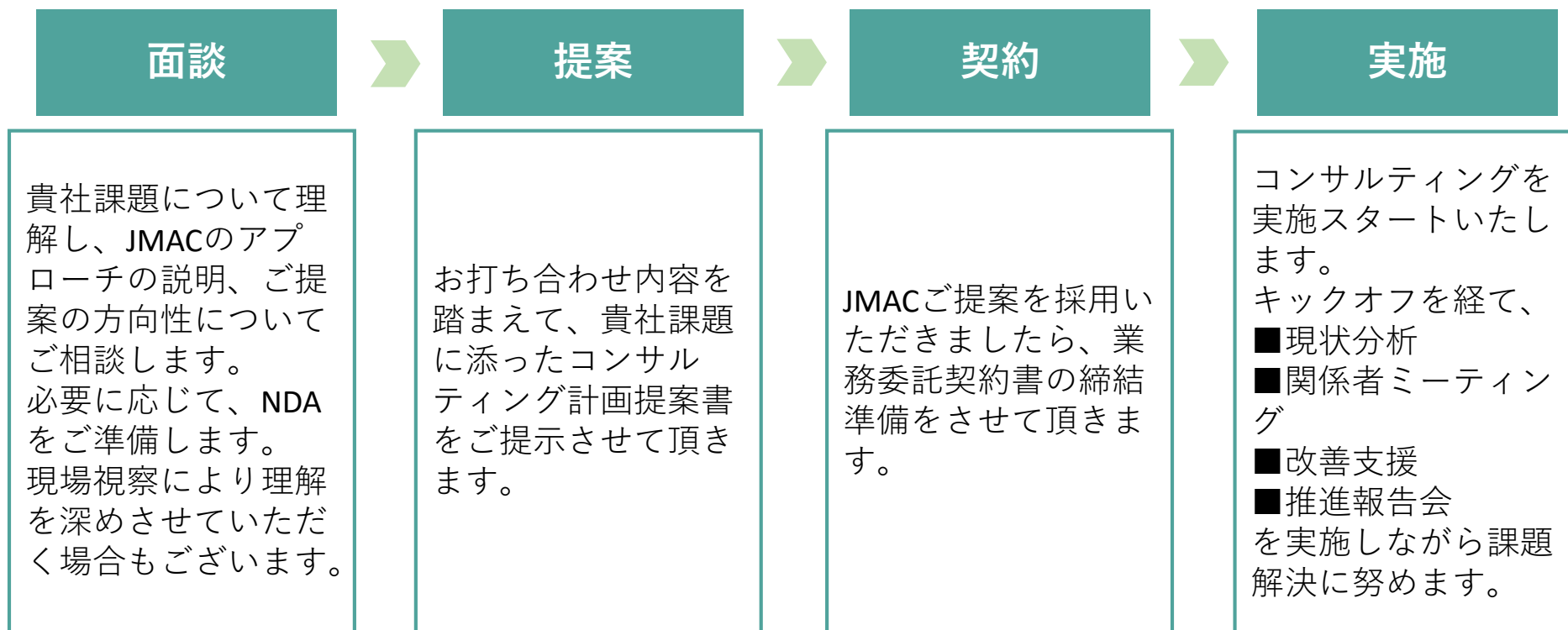
## 対象 部門

荷主企業の経営者、物流部門責任者・管理者  
業種（小売り・製造業）

## Case

業界	食品製造業
会社プロフィール	国内2工場より大手スーパー・卸への製品納入を物流会社へ委託
テーマ	配送ネットワーク、配車計画の見直しによる配送コストダウン余地の明確化
背景	物流費の高騰
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出荷・配送実績データに基づく現状配送モデル把握と評価</li><li>・ 現状の配送効率分析、配送コスト分析</li><li>・ 上記分析に基づく、問題点の整理</li><li>・ あるべき配送ネットワーク、配車計画の立案、及び、改善余地の明確化</li><li>・ 配送シミュレーションの実施</li><li>・ 改善効果試算</li></ul>
取り組み成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 最適デポ拠点選択、直送/デポ経由の最適輸送計画の立案</li><li>・ 輸送費削減（通常期9%、繁忙期12%、閑散期9%）</li></ul>

# ご相談の流れ



お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://dlabo.jmac.co.jp/inquiry>  
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307